国際ロータリー第2530地区（旧承認番号 3992）

KORIYAMA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT 2022－2023

Rotary　イマジン ロータリー

郡山ロータリークラブ ウェブサイト http://k-rc.main.jp/

第32回　2023年3月16日

会長挨拶

佐藤尚宏 会長

皆さん、こんにちは。10日に東京立川RCに行って参りました。その際にローカルテレビで取材を受けておりますので、その画像をご覧になって下さい。植樹のお声がけを頂いて神山会長年度に私が幹事として一緒に行きました。次の年の鈴木禎夫年度には、郡山に寄付を頂けるということで、立川の方がこちらに来て頂きました。

立川RCは1960年創立、現在120名程のメンバーがおりまして、人口18万5千の市内に2つしか無いRCには、入りたくて待っている方も多くいらっしゃると言います。今回も出席者は90名を越えており、大変高い出席率を誇っておりますし、意識も大変高いクラブであります。受付も10～20名のメンバーでしっかりとした運営をされています。今回式典の後、私が一言、そして神山パスト会長が卓話を致しました。通常例会では元バレーボール選手の狩野舞子さんが卓話をされ、著名な方を毎週通常例会に呼んでいるということでした。こぶしRCと共催で毎年クリスマスチャリティーコンサートを無料で開いており、そのチャリティーで寄付を募っておりまして、鈴木禎夫年度に、金透小学校に多大なる寄付を頂きました。今後ともこういった交流を長く続けていければ良いなと思っております。

PETS報告

菅野秀士 エレクト

3月4日にウェディングエルティでPETSを受けて参りました。従来なら泊まりでやるのですが、今回のPETSは1日で終わらせるということで、かなり端折っていました。

来年のRI会長はゴードン・R・マッキナリーさんという65歳の方です。出身はスコットランドで、サウス・クイーンズ・フェリーRC所属です。RIテーマは「世界に希望を生み出そう」です。

第2530地区の右近八郎ガバナーエレクトは70歳、福島RCです。地区のスローガンは「ロータリーを楽しもう～エンジョイ・ザ・ロータリー・プライド」です。地区の方針は、「地区組織として基本認識として、地区は共同体（家族）の構成からなる機能体（企業）である。地区の機能体としての目的は、クラブの支援及び活性化・クラブのためのRI及びプログラム、他地区合同活動の支援とする」ということです。第二に「地区運営の基本方針としては機能体の側面から永続的な確保『効果的な地区運営とリスク管理』共同体の側面から精神性の充実『楽しいロータリーの活動と研鑽』とする」でした。郡山RC、来年は地区とも連携していきながら、1年間頑張っていきたいと思っております。

神山英司 パスト会長

立川RCは当クラブのことを、東北で一番古いと言う事で大変敬意を持って接してくれています。僕は今回10年ぶりの卓話をさせてもらいました。また、立川RCとの姉妹クラブのお話しを断っているところがありまして、「姉妹クラブなんて考えないで下さい、お互いの負担になってしまいますよ」と言ったことも、なるほどと尊敬されてしまいました。それから、郡山RCの80周年の時に立川のメンバーをお呼びしておりますが、その時に何に驚いていたかというと芸者の多さだそうで、立川には芸者さんはいないそうです。郡山の90周年には来てねと言っておきましたので、立川に出張で寄った時には必ずメーキャップして頂けたら幸いです。

幹事報告

橋本　勝 幹事

東京立川RCに行って来まして、本当に神山さんに感謝です。他のRCになかなか行く機会がなくて、立川RCは120名の大所帯の、それも90名以上の多くの方が出席され、受付もハイテクです。スマートフォンをピッってやると出席となるシステムがあるそうです。東京RCも私は行ったことがないので、立川RCを上回るという東京RCの設営も見てみたいなと思った次第です。

ニコニコBOX委員会報告

佐藤　聡 委員長

◎本日も例会へのご参加、ありがとうございます。アクアマリンふくしまの岩田様を歓迎致します。

佐藤尚宏君

◎本日は第32回例会です。宜しくお願いします。また、アクアマリンふくしまの岩田様の卓話楽しみに！

橋本　勝君

◎アクアマリンふくしまの岩田雅光さんを心より歓迎致します。本日は、卓話を宜しくお願い致します。

遠藤友紀晴君

◎岩田雅光さん、本日のスピーカー宜しくお願いします。

前田泰彦君

◎アクアマリンふくしまの岩田様の卓話、楽しみにしてます。

中原喜範君

◎アクアマリンふくしまの岩田様を歓迎して。

湯浅大郎君

◎春になりました。桜楽しみです。本日の卓話、宜しくお願いします。

高橋孝行君

◎アクアマリンふくしまの岩田様の卓話、楽しみにしております。本日はニコニコBOXに入れさせて頂きました。皆様、今後とも宜しくお願いします。

佐藤　聡君、高橋裕一君

プログラム紹介

遠藤友紀晴 環境保全委員長

3月は水と衛生月間です。環境保全委員会で、お客様を呼んで卓話を頂戴する企画を立てさせて頂きました。本日の講師は、公益財団法人福島海洋科学館飼育展示統括部長・国際交流担当部長の岩田雅光様です。北海道大学水産学部水産増殖学科をご卒業され、その後よみうりランド海水水族館で勤務、1997年から福島県における水族館の立ち上げに参加、2000年のアクアマリンふくしま開館時よりシーラカンス生態系調査のプロジェクトメンバーです。アフリカやインドネシアでの生態調査も実施しております。プラゴミ怪獣プロジェクトなど、アクアマリンふくしまでの海洋プラスチックごみ削減の啓発活動だけではなく、市民活動としても海神ネプチューン大学プロジェクトなどにも幅広く取り組んでおられます。

ゲスト卓話

「海洋プラスチックごみの現状といわきでの取り組み」

アクアマリンふくしま職員
岩田雅光氏

私の目標は、いわき市民や福島県民が、あなた方の特徴は何かと聞かれて、海岸や街中の清掃活動をやっているのが特徴ですと言える様にしたいと思っています。その為に活動を積み上げているようなつもりで自分ではいます。環境省が18歳以上に向けたアンケートで、あなたはプラスチックごみの問題の解決への貢献として今後どのようなことに取り組んで行きたいですかというものがありました。中には無関心と言うものもありましたが、様々な取り組みについてアイディアが多く出た中で、清掃活動に積極的に参加するという方が12.6%いました。これは結構大きい数字だと僕は考えています。いわき市の人口は32.5万人います。このうちの12.6%がごみ拾いをしたいと思っているとすると、実に4万人がごみ拾いをしたいと言う潜在的な可能性があるわけです。年間の清掃活動が1,000回としても1回で120人くらいが参加できる可能性があるわけです。実際に僕らがやってみると10人～30人の参加ですので、まだ力が及んでないと考えているので、是非120人ぐらいは毎回集まるということをぜひ実現したいと思います。

いわき市には沢山の海岸があります。海のごみを考える上で福島県は実は結構重要な場所になります。日本の周りには海流が回っており、北からの親潮という冷たい海流、そして南からの黒潮という温かい海流がぶつかっている場所が福島県です。そして重要なのは黒潮がぶつかった後にどこに行くかということなのです。この黒潮はとても強い海流なので、ぶつかった後は太平洋を東に進んで行きます。そして北アメリカの大陸にぶつかると、南の方に流れを変え今度は西に向かい赤道海流になって日本に戻って来るという、大きな流れを作っています。ですから、同じく海流と一緒にごみも東のアメリカの方に行ったりしています。福島県沖で少しでも取りこぼしたごみというのは、太平洋を汚していく。そして行先は最終的にはアメリカに行くかもしれないというようなことで、福島県でごみを拾うということは重要な意味を持つのではないかと考えています。逆に日本にはどうかというと、韓国や中国のごみがたくさん流れて来ます。対馬や沖縄の島々では、物凄い勢いでごみが流れて来るそうです。対馬では海岸がごみで埋まっていて浜になっているところもあるそうです。ミッドウェー環礁のたくさんの海鳥がプラスチックを誤って食べて死んでいます。その中で、赤い物は使い捨てのライターです。ライターの58.2%が日本製で、日本で出たごみが太平洋を渡って海鳥に被害を与えているということです。こういったことを説明しながらいろんな活動をしています。

「プラごみ怪獣大作戦」というのをアクアマリンふくしまでやりました。これはプラスチックごみが集まって怪獣になっちゃったので、これを退治するためには皆さんの協力が必要なので、どうしたらいいのかということを宣言として紙に書いて貼ってもらうという活動をしています。アクアマリンパークファウンデーションとしては、海のごみを拾うということと、プラス学習をするということを合わせた活動をやっています。これは小学生の親子を対象にしています。子供は結構ごみ問題について学校で習うことは多いのですが、親御さんは、殆どがテレビで見た事あるかなぐらいな感じの方が多いです。親御さんにも参加して頂いて、海のゴミについても考えてもらうということを目的として取り組んでいます。「あとふくしま海ごみネットワークシンポジウム」というのをアクアマリンふくしま主催となってやりました。いわき市にはボランティアでごみ拾いをする人は結構たくさんいますが、その皆さんを一堂に会して紹介し合おうという事で開催しました。昨年11月には新しい試みとして、いわき市の海岸に船とか大きなプラスチックのシートがあり、それを県の方で片付けてくれるということから、そのお手伝いということで周りの小さなごみも集めて一緒に持っていって貰おうという活動をしました。

海のごみは凄く問題になってますが、これはみんながやろうとしたらもっと綺麗になるはずです。30年後には無い問題になっているかも知れませんが、これからも引き続き様々な活動をして行きたいと思います。

出席報告

有賀隆宏 委員長

総員／103名　出席／54名　欠席／49名
出席率／52.43%　前回修正率／62.37%
他クラブ出席／0名

次回 第34回例会
令和5年4月6日㈭
会員卓話

「自己紹介」
㈱花ふじ
代表取締役　伊藤基文君

阿部測量 株式会社
代表取締役　阿　部　充　宏
〒963-8014　郡山市虎丸町21-14
☎ 933-2585　FAX 922-5005

東京海上日動火災保険㈱郡山支社
支社長　前　田　宏　一
〒963-8570　郡山市長者1-7-20
☎ 934-8601　FAX 934-8602

会報第32号(通算3409号)2023.3.23発行 / 編集責任者:橋本 勝　編集:クラブ会報委員会　委員長 矢部 浩樹
副委員長 石井 祐一／委員 青木 誠・伊藤 清郷・大山 勇起